



20:14 シェバはイスラエルの全部族のうちを  
通って、アベル・ベテ・マアカへ行った。  
すべてのベリ人が集まって来て、彼に従った。  
20:15 人々はアベル・ベテ・マアカに来て、  
彼を包圍し、この町に向かって壘を築いた。  
それは外壁に向かって立てられた。ヨアブに  
つく兵はみな、城壁を破壊して倒そうとして  
いた。  
20:16 この町から、一人の知恵のある女が叫  
んだ。「聞いてください。聞いてください。  
ヨアブにこう言ってください。『ここまで近  
づくいてください。あなたにお話ししたいの  
です。』」  
20:17 ヨアブが彼女の方に近づくと、この女  
は言った。「あなたがヨアブですか。」彼は  
言った。「そうだ。」女は言った。「このは  
しためのことを聞いてください。」彼は  
言った。「よし、聞こう。」  
20:18 女は言った。「昔、人々は『アベルで  
尋ねよ』と言って、事を決めました。  
20:19 私は、イスラエルのうちで平和な、忠  
実な者の一人です。あなたは、イスラエルの  
母である町を滅ぼそうとしておられます。あ  
なたはなぜ、【主】のゆずりの地を、?み尽  
くそうとされるのですか。」  
20:20 ヨアブは答えて言った。「とんでもな  
い。?み尽くしたり滅ぼしたりするなど、と  
んでもないことだ。  
20:21 そうではない。実はビクリの息子で、  
その名をシェバというエフライムの山地の出  
である男が、ダビデ王に手向かったのだ。こ  
の男だけを引き渡してくれたら、私はこの町  
から引き揚げよう。」女はヨアブに言った。

「では、その男の首を城壁の上からあなた  
のところに投げ落としてごらんに入れま  
す。」

20:22 この女は知恵を用いて、民全員のと  
ころに行った。それで彼らはビクリの子シェ  
バの首をはね、それをヨアブのもとに投げ  
た。ヨアブは角笛を吹き鳴らし、人々は町  
から散って行き、それぞれ自分の天幕に  
帰った。ヨアブはエルサレムの王のとこ  
ろに戻った。

20:23 さて、ヨアブはイスラエルの全軍の長  
であった。エホヤダの子ベナヤはクレタ人  
とベレテ人の長、

20:24 アドラムは役務長官、アヒルデの子ヨ  
シャファテは史官、

20:25 シェワは書記、ツアドクとエブヤタル  
は祭司、

20:26 ヤイル人イラムもダビデの祭司であった。

ダビデとその部下たち、また反逆者も政治的  
人間的な方策に没頭しているような今、この女は  
「知恵のある女」と呼ばれ、政治的野心とは別  
次元の価値観で登場します。すなわち「主のゆず  
りの地」であるアベルの町を守ろうとする真剣な  
思いです。

そしてその思いがあるとき、政治に関しては疎  
かった彼女も、この戦いは行き当たりばったりの  
もので、ヨアブは成り行き上町全体を攻めている  
のだということがわかったのです。

主を第一にする信仰から生まれた思いと、主か  
らの知恵はこの世のあらゆる権威よりも、主に役  
立つのです。

ダビデがヨアブなど部下たちを任命して組織を  
再編成したことと対比をなすのが、この女の行動  
です。どちらも主のみこころに叶うようにしな  
ければなりません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の  
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願  
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなた  
の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

